



## 水稲育苗管理について



男鹿地区営農センター 主査 工藤 亮寿

育苗の良否が生育や収量、品質に影響します。適正な管理で健苗育成に努めましょう!!

### ● 温度管理

ハウス内温度が30℃を超えないように注意しましょう。特にビニールが新しいハウスは注意が必要です。好天の日はハウス内が高温になりますので天候にあった温度管理をお願いします。2.5葉期以降は夜間もハウスの側窓を開け、徐々に外気に慣らしていきます。



### ● 水管理

床土の乾き具合をこまめに確認し適正な水分状態を保持するよう管理をお願いします。灌水する場合は朝に1回たっぷり行ってください。午後からの灌水は夜間の加湿状態につながるので控えましょう。必要以上の灌水は根張り不良や軟弱徒長をまねく恐れがあるので注意が必要です。

### ● 追肥(中苗)

葉色をみながら適期に追肥を行ってください。※育苗用ロング肥料(ロング入り育苗複合)を使用している場合は基本的に不要です。

資材名	使用方法	1回目	2回目
尿素複合液肥2号	50倍(500ml/箱)	2.0~2.5葉頃	3.5葉頃(田植え前)

※追肥後は必ず水での洗い流しを行ってください。(葉ヤケ防止)

### ● 育苗期の防除

育苗期から防除を行い、病害に感染した苗の本田への持ち込みを避けましょう!

農薬名	希釈倍数	散布量	回数	使用時期	使用方法及び対象病害
タチガレエースM液剤	500~1,000倍	500ml/箱	1	播種時又は発芽後	土壌灌注処理。苗立枯病(ピシウム・フザリウム菌)ムレ苗防止、活着促進
ベンレート水和剤	500~1,000倍	500ml/箱	2	播種時から播種7日後頃まで	土壌灌注処理。いもち病

### ● 葉いもち病・初期害虫防除用箱剤の紹介

ご自分の作業方法と病害虫の発生状況に合った剤の選定をお願いします。

農薬名	散布量	回数	使用時期	病害虫
ファーストオリゼパディート箱粒剤	50g/箱	1	播種前又は播種時(覆土前)	いもち病、ドロオイ、ゾウムシ、フタオビコヤガ、イナコ類 他
ルーチンアドスピノ箱粒剤			播種前から移植当日	いもち病、ゾウムシ、ドロオイ、ハモグリバエ、フタオビコヤガ、ウンカ類 他
ツインターボ箱粒剤08			播種前から移植当日	いもち病、ゾウムシ、ドロオイ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ他
箱いり娘粒剤			移植7日前から移植当日	いもち病、紋枯病、ゾウムシ、ドロオイ、フタオビコヤガ、ハモグリバエ 他